協同学習ワークショップ〈アドバンス〉

－“協同”で学ぶ、“協同”を学ぶ教育実践－

担当者	石田裕久（南山大学名誉教授） 関田和彦（創価大学）
概要	協同学習では、互いに協力して学習課題に取り組むなかで、学習課題の理解はもとより、対人関係をはじめとしたさまざまな社会的スキルが獲得されます。近年、日本の教育界においても数多くの実践が報告され、その有効性が確かめられています。 このワークショップは、日本協同教育学会(JASCE)が認定した基礎講座で、協同学習法に関する本格的なトレーニングの入門コースです。今回の基礎講座では、協同教育の理念や基本概念を紹介します。そして、参加者の皆さんに協同学習の技法を実際に体験していただきながら、以下の内容を中心に共に考えていきます。 •協同の考え方に立つ学習観・教育観 •グループ学習と協同学習の違い •協同学習の定義 •協同学習に必要な個人思考と集団思考 •各種技法とその応用 このワークショップは2日間にわたりますが、修了者には日本協同教育学会から修了証が出ます。この修了証はより上級の講座への受講資格となります。
日程	2017年11月11日（土）、11月12日（日）10:00～16:00
定員	36名
会場	南山大学　D棟　D51教室
受講料	受講料　12,000円〈税込〉
メルマガ 講座報告	担当講師　石田裕久　記 協同学習は、自己統制と協調を必要とする課題の達成・相互活動を通して、学習者の自立や自律を促す指導論です。＜アドバンス＞は、＜ベーシック＞の修了者を対象として開講されました。ここでは、単なる技法としての協同学習にとどまらず、指導方法論としての協同教育について実習を交えながら学びました。参加された方々からは「協同とは？を考えるために定期的に受けたい内容でした。また、迷ったら受講します」「学生を育てるための協同学習ですが、その協同学習を通して自分自身が成長できる場であると思います」「現場でやってることがどうであったのかの確認と、新たな情報・知識を得ることができ、また、校種の違う方の現場の声や願いを知ることができました」などの感想が寄せられました。